

## 2級編

変更及び追記事項 ※第2版では全て変更済です。

ページ	箇所	変更前	変更後
2・3	目次「色彩調和」の項	イエローベース&ブルーベース	削除
13	左段 下から6行目	「～510nm付近の～」	「～507nm付近の～」
17	図15 キャプション	「代表的な人工光源と自然光との関係」	「代表的な人工光源と自然光と色温度の関係」
18	右段 上から1～4行目	「演色性は、同じ光色でRa100である基準光と比較して、色の見えの差が少ないほどよくなります。基準光には自然屋光と、人工光源の代表として白熱電球が選ばれています。」	「演色性は、基準光と比較して色ずれが少ないほどよくなります。演色評価数とは比較したときの色ずれの量を、100から引いた値の事です。基準光には自然屋光などが用いられます。」
24	右段 下から2行目	「彩度1を省略して、～」	「奇数の彩度を省略して、～」
29	図21 キャプション	「( )内には、例えば(赤)みの白のように、10種類の有彩色の基本色名が入る。」	「( )内には、後で出てくる図23の「無彩色の色相に関する修飾語」の「みの」を省略したものが入る。例えば、(赤)みの白や(紫みを帯びた赤)みの白ようになる。また、～」
40	配色例の上から1番目	lt24+/b24	v20/v21
40	配色例の上から3番目	p14+/ltg14/lt14+	d14/dp14/v14
41	左段「フォカマイユ配色」本文上から3行目	「～、色相とトーンで少し変化を～」	「～、色相やトーンで少し変化を～」
41	配色例の上から3番目	ltg14/ltg12/sf10	lt16+/lt18+/lt20+
43	図20 図中のカマイユ配色キャプション最終行	(明度差、彩度差があまり大きくない)	(色相差、明度差、彩度差があまり大きくない)
43	図20 図中のフォカマイユ配色キャプション最終行	(明度差、彩度差が多少ある)	(色相差、明度差、彩度差が多少ある)
46・47	イエローベース&ブルーベース		2ページ削除
71	エレガントの説明文 上から4行目	「グレイッシュやパステルカラーが～」	「グレイッシュパステルカラーが～」
80	図19 キャプション	「マーチャндаイズ・プレゼンテーションの分類」	「マーチャндаイジング・プレゼンテーションスタンダードの分類」
80	左段 下から3行目	PP(ポイントオブ・パーチャストプレゼンテーション)	PP(ポイントオブ・パーチェスプレゼンテーション)
114	中見出し	「環境色彩計画の手順と内容」	「住宅エクステリアにおける色彩計画の手順」
122	索引		P46・47の削除により各項目のノンブルおくる